

あゆむ

・・・発行元・・・

認知症の人とあゆむ会

〒026-0052 岩手県釜石市小佐野町 3-9-1

事務局：はまゆり在宅介護支援センター内

TEL：0193-25-0650 / Fax：0193-23-1415

H28年度認知症の人とあゆむ会講演会・介護事例研究発表会

認知症の人とあゆむ会講演会が12月10日小佐野コミュニティ会館大ホールで開催されました。はじめに、釜石ファミリークリニック院長関薫先生から「医師から家族に伝えたい3つのこと」というテーマでご講演頂きました。その中で先生は「(認知症を理解し)患者さんを責めないこと」「(介護者が)孤立しないこと」「(介護者が)自分も責めないこと」が大事であると話されました。それは、サービスを利用しながら、家族が負担なく介護を続けられるようにすることが大事であるという内容でした。

基調講演後には「認知症介護事例研究発表会」として市内5事業所より認知症患者への取り組み内容が発表されました。

○仙人の里デイサービスセンター 沖千代さん

震災によって環境が変化し、認知症症状の進行があり戸惑う本人やご家族。その気持ちに寄り添いながら支援した事例を発表。

○ニチイケアセンター釜石デイサービス館林真一さん

H28年5月に導入したDKエルダーシステム(テレビ画面を見て音楽、体操等が楽しめるもの)の運用を通して、利用拒否のあったご利用者様が安定して通所利用ができるようになった事例を発表。

○あゆみ訪問看護ステーション 斉藤裕基さん

最初に訪問看護の仕事内容を説明。次に認知症症状の強い方への様々な関わり方により、必要な医療が受けられている事例について発表。

○ジャパンケア釜石 村上繁範さん

仮設住宅における、認知症高齢者への住民の理解やサポートセンターの関わりにより、1人暮らしが継続できている事例について発表。また、仮設住宅の見守りシステム、配食サービスについても紹介。

○フレールはまゆり 福岡和美さん

施設の認知症専門棟において重度の認知症高齢者が、介護・看護・リハビリの多職種協働にて本人へ様々な関わりを行い、自宅への外出ができた事例について発表。

ミニ講座

若年性認知症について

1.若年性認知症とは

64歳以下で発症するものを、若年性認知症と言います。

2.高齢者の認知症との違い

若年性であっても、高齢者の認知症と医学的に違いはありません。

3.若年性認知症の特徴と問題点

若いからという理由で気がつきにくく、女性より男性がなりやすく、高齢者より進行が早いと言われています。若くて体力があるため、介護する側の負担が大きく、働き盛りの時に発症するため、経済的な打撃を受けます。

4.若年性認知症が疑われる時の対応

早期発見と早期治療が重要となります。本人が自分で気がつき積極的に受診するのは難しいため、家族や同僚など周囲が気づき、受診を勧めることが重要。

5.若年性認知症の生活を支える制度とサービス

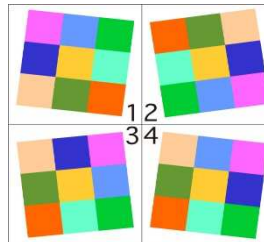
介護者の介護負担が大きいため、各段階で利用できる制度を積極的に利用していきましょう。

- ・介護保険・・・40歳以上であれば利用できます。
- ・障害年金・・・受給資格があるか確認しましょう。
- ・住宅ローン・・・保険加入の内容により返済が免除される場合があります。確認しましょう。
- ・精神障害者保健手帳・・・申請を行い、医療費の軽減、公共料金の割引、税金の控除免除になる場合あり。
- ・教育資金制度・・・奨学金制度、福祉貸付金制度の利用。

★シリーズ★ 認知症最新ニュース

今回は趣向を変えて脳のトレーニング(略して脳トレ)をご紹介します。是非挑戦してみてください!

【問題1】下の四つの図形の中で1つだけ違う図形があります。どれ?



【問題2】なぜなぜ通る時に閉まっているのに、通らない時に開いているものといえば?

ヒント：ある乗り物と関係しています。

※答えは広報右下に!

活 動 予 定

★ つどい定例会 (対象：正会員・一般介護者)
 ・1月18日(水) 13:30~15:00
 ※会場：小佐野コミュニティ3階

★ あゆむカフェ (対象：正会員)
 ・2月15日(水) 13:30~15:00
 ・3月15日(水) 13:30~15:00
 ※会場：小佐野コミュニティ1階